

車両検修業務の体制見直しについて 詳細提案を受ける！

①主な内容

- (1)勝田車両センター各班体制をユニット化・グループ化し業務の連携と融合を図る。
- (2)土浦運輸区検修部門については、勝田車両センター所属とし、勝田車両センター土浦派出とする。

②箇所体制

		現行				改正				記事	
		変形等	交代	乗務員		変形等	交代	乗務員			合計
				日勤	泊			日勤	泊		
土浦運輸区	管理	7	3			6	2			8	
	一般	12	1	14	33	10		14	32	56	乗務員(日勤)のうち、1は土休日カット
勝田車両センター	管理	6	1			7	2			9	
	一般	47	6			41	8			49	

※「現行」は2023年3月ダイヤ改正前の体制、「改正」は2023年ダイヤ改正後の体制を計上している。
 ※業務の繁忙等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。
 ※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

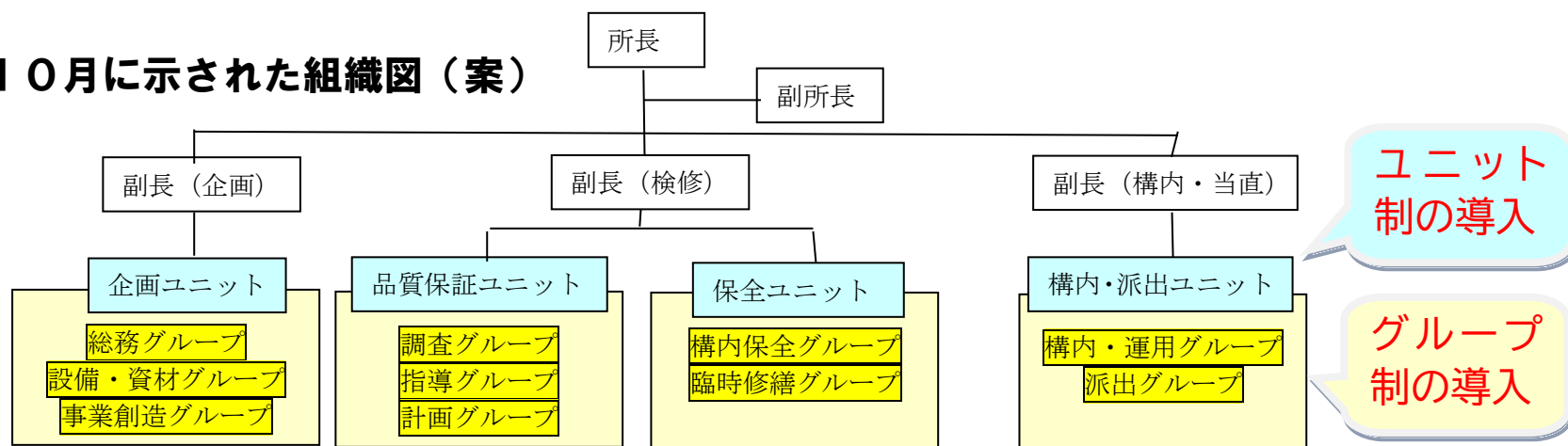
③実施時期

2023年3月18日(土)

④その他

- ・必要な教育および訓練を実施する。
- ・今後、水郡線統括センター検修部門及び水戸運輸区検修部門についても体制の見直しを検討していく。

10月に示された組織図(案)



ユニット
制の導入

グループ
制の導入

派出体制の見直し

- 【高萩電留】夜間早朝のみ(勝田車両センター本区から)→夜間早朝のみ(いわき派出から)
- 【草野電留】夜間早朝のみ(いわき派出から)→終日不在

主な労使議論

- 組合:各職場の増減の根拠を示すこと。
- 会社:管理の増減は土浦運輸区検修部門が勝田車両センターの派出化となるためである。
一般の減少については業務の融合やグループ化・ユニット化に伴うためである。
- 組合:各ユニットの人数を示すこと。
- 会社:箇所体制についてで示している通りである。
- 組合:各ユニットの人数について何故示せないのか。
- 会社:硬直的な体制をつくりたくない。効率的な体制を組んでいくため、全体人数で理解いただきたい。

安全で働きやすい職場をつくり出すため、JR東労組水戸地本は様々な施策に向き合います！